

登録コード	SD513300	開講年度	2026				
授業題目	堆積・古生物学実験				担当教員	吉田 孝紀 他	
英文授業名	Practice in Sedimentology and Paleontology				副担当	山田 桂・山田 昌樹	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・4時限	対象学年	3年
講義室	理学部第12講義室		授業形態	実験	遠隔授業科目	備考	自由／自由
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Sカリ，2 5 Sカリ，2 4 Sカリ，2 3 Sカリ						
	【2023年度以降加増対象】理学の各分野における専門知識				専門知識に基づいて，堆積物の性状と形成について説明できるようになる．		
	【2023年度以降加増対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				専門知識に基づいて，堆積物の性状と形成について説明できるようになる．		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	地層の重要な構成要素の一つである堆積物の粒度を測定する原理とその方法，得られたデータ解析法の基礎を理解する．また，堆積物の観察手法や分類法について理解する．さらに，第四紀堆積物コアの記載方法や放射性炭素年代測定についても学ぶ． 地層学，堆積学，第四紀学を包括した内容の実習として開講する．						
(5)授業のキーワード	フィールド学習，専門知識と応用力，科学リテラシー，問題発見・解決能力，普遍的・数量的理解力，地域環境に関する理解，環境基礎力						
(6)授業計画	第1回：ガイダンス・レポートの書き方（吉田） 第2回：砂質堆積物の構成（吉田） 第3回：砂質堆積物の分類（吉田） 第4回：河川での砂礫採取（山田昌） 第5回：礫質堆積物の形状解析：実習（山田昌） 第6回：礫質堆積物の形状解析：解析（山田昌） 第7回：含泥率測定（山田昌） 第8回：岩井堂での浅海堆積物の堆積相記載（山田昌） 第9回：砂質堆積物の粒度分析：実習（山田昌） 第10回：砂質堆積物の粒度分析：解析（山田昌） 第11回：放射性炭素年代測定：試料採取（山田昌） 第12回：放射性炭素年代測定：暦年校正（山田昌） 第13回：堆積物コアの採取（山田昌） 第14回：堆積物コアの記載（山田昌） 第15回：堆積物コアの剥ぎ取り（山田昌），授業アンケート（15分）						
(7)成績評価の方法	毎回の課題・実験結果の提出により，原理と分析法などの理解度9割以上をS，8割以上9割未満をA，7割以上8割未満をB，6割以上7割未満をC，それ以下をDとする．						
(8)成績評価の基準	(i) 与えられた課題に対しての最低限のデータが取得されている、(ii) 充実したデータが取得されている、(iii) 取得されたデータが誤解の無いよう整理されて記録されている、(iv) それらのデータの評価が適切になされ、十分な考察がされている、の4項目で評価する。(i) から (iv)の4項目を満たしていれば「卓越している」、3項目までできていれば「かなり上にある」、2項目までできていれば「やや上にある」、1項目までできていれば「水準にある」、とする。						
(9)事前事後学習の内容	毎回、実習時に実習の狙いと課題を明示する。その課題の解決に向けて、事後学習とレポート作成を行うこと。						
(10)履修上の注意	実習時には学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険への加入を確認すること．						
(11)質問,相談への対応	毎回の講義の際に予定を話し合った上で、研究室を訪問してください．以下のアドレスにメールを送ることも可． 吉田孝紀：kxyoshid@shinshu-u.ac.jp 山田 桂：katsurai@shinshu-u.ac.jp 山田昌樹：yamada@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	新版・碎屑物の研究法		公文富士夫・立石雅昭編		地学団体研究会		
【参考書】	指定しない．						